

## カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

D.データ活用		DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入		
表計算ソフト活用		DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入		
コースのねらい		自社の業務変革を目指して、業務のシステム化に向け、自社のニーズに合致したシステムを企画できる知識を習得		
講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	DX導入手法とデジタル技術の活用	(1)DXの導入手法の事例紹介と知識の学習法☆ DXへの取り組みにおいて業種や業務を問わない勘所を学び、自己学習の方法をお伝えします。 その中で、グループワークを行い、DXの知識学習の方法を習得します。  (2)デジタイゼーションとデジタルイゼーション DXの包含概念である、2つの考え方とDXの違いを学ぶことでDXへの取り組みの真の理解につなげます。  ☆マークの内容はワーク(演習)を含みます	1.5
	2	DX導入手順	(1)DX推進体制の整備と現状分析 参加者にヒアリングをしながら、推進体制や現状分析を行い、その手法を学習します。 (2)課題抽出から施策立案 事例を使った課題の解決方法を紹介しながら施策立案までのプロセスを学習します。	1.5
	3	システム開発手法	(1)システム開発手法 システム企画をするにあたり必要となるシステムの開発手法を学びます (2)IT事業者との対応の仕方☆ IT事業者と自社の橋渡しに必要な考え方、それぞれのやるべきことや責任範囲などを明確にした上でIT事業者との対応をワークショップとして行います。  ☆マークの内容はワーク(演習)を含みます	2.0
	4	DX推進検証	(1)DX推進検証における指標の設定 検証指標の重要性と有効性を学び、評価指標の例を紹介します。 (2)POC 企画フェーズ、若しくは開発に入る直前のフェーズで行われるPOCの基礎知識、メリット・デメリットをお話します	1.0
合計時間			6.0	

### カリキュラム作成のポイント

企業内にて、表計算ソフトを効果的に導入し、データを可視化することによって様々な気付きができるよう具体的な手順と実践方法の習得が可能な内容に仕上げる。